



平成 21 年 4 月入庁 消防課主査



【現在の仕事・これまでの業務経験】

私はこれまでに、消防隊、救助隊、予防課での業務を経験してきました。現在は、消防課という予防業務を担当する部署に所属しています。消防課は課長 1 名、係長 1 名、係員 1 名の少数精鋭で構成されており、予防課とともに火災の発生を未然に防ぐため、立入検査で管轄地域内の防火対象物の防災指導を行っているほか、火災予防広報のために火災予防に関する情報を積極的に発信しています。

消防署での業務は訓練のイメージが強いと思いますが、実際は訓練と事務仕事は半々です。事務仕事の中でも大きなウェイトを占めるのが予防業務になります。予防業務は消防とは切っても切り離せない業務になり、難解な消防法令等を知っておく必要があります。そのため、消防課は消防署における予防業務のエースでなければなりません。

【消防士を選んだ理由・仕事への思い】

私は、生まれも育ちも春日・大野城・那珂川消防組合消防本部の管内で、生まれ育った地域のために何かしたいと思ったことが消防士を選んだきっかけでした。私の祖父も消防士であったため、小さいころから消防士の話を聞き、カッコいい仕事だなと思っていたことも大きな理由の一つです。祖父がよく言っていた、「制服に誇りを持って」という言葉を今でも大事にしています。

住民の皆さんは自分たちの街を守る消防士を選べません。だからこそ、私たちは現場での災害対応力と火災予防に関する知識を高いレベルで両立させ、どこに行っても住民から頼られる消防士にならなければなりません。つまり「レペゼン春・大・那」を名乗れるようにならなければならないという気持ちで頑張っています。

【休日の過ごし方】

現在は、月曜日から金曜日まで毎日勤務をしていますので、土日祝日が休みとなっています。そのため家族との時間が合わせやすく、休日は家族でキャンプや公園に行ったりリフレッシュしています。

隔日勤務に比べ、自分の時間は取りにくいですが、家族と過ごす時間は多くとれます。他には音楽が趣味なので NO MUSIC, NO LIFE な生活を送っています。

【受験者へのメッセージ】

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。

「消防士」という「夢」を叶え、「地域の安全安心」という夢を一緒に叶えましょう！



平成 25 年 4 月入庁 予防課主査

【現在の仕事・これまでの業務経験】

私は入庁して 12 年目になりますが、これまで災害現場で消防隊員や救急隊員として、皆さんが抱く「THE 消防士」のイメージどおりの活動を行ってきました。現在は、予防課指導係で毎日勤務を行っており、消防法令関係書籍やパソコンを駆使して業務を行っています。業務の内容としては、春日市、大野城市及び那珂川市内で建設される建物に消防用設備等が適正に設置されるかを審査し、既存の建物に対しては火災予防上の危険がないか等进行检查し、防火指導を行っています。「誰かのために役に立てた」というやりがいやダイレクトに感じる現場活動に比べると、現在の業務は少し地味です。ただ、火災は発生させないことが一番大切ですので、火災を予防するための予防課の業務が非常に重要だと感じています。

このように消防士と言っても様々な部署で様々な業務があり、それぞれ大きなやりがいがあるため、いい意味で飽きずに働けます（笑）。

【消防士を選んだ理由・仕事への思い】

正直に言うと、私が消防士になろうと思った理由は父親が消防士であり、消防士になれば安定した生活を送れるのかなという安易な考えでした。もちろん、採用に向けた勉強等は真剣にやりました（笑）。結果的には、消防士を選んで本当に良かったと思っています。

消防士は人命救助を行う仕事であり、このような仕事は誰もが経験できるものではありません。管内住民の皆さんの命を災害から守る責任は非常に重く、その責任を果たすだけの能力を求められる厳しい職場です。

また、経験を積み重ねても出動時は緊張しますし、危険な現場に出動するため安全管理上の不安等もあります。ただ、そういった緊張や不安に打ち勝って住民の命を救うことができた時や被害を最小限に抑えることができた時に感じるやりがいは非常に大きなものです。消防は住民の皆さんのために力を尽くせる最高に魅力ある仕事です。

【休日の過ごし方】

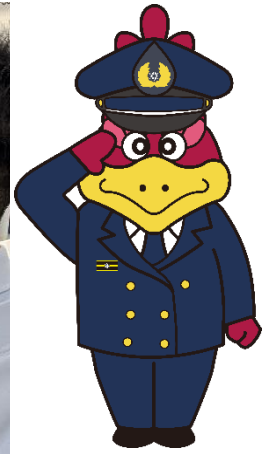
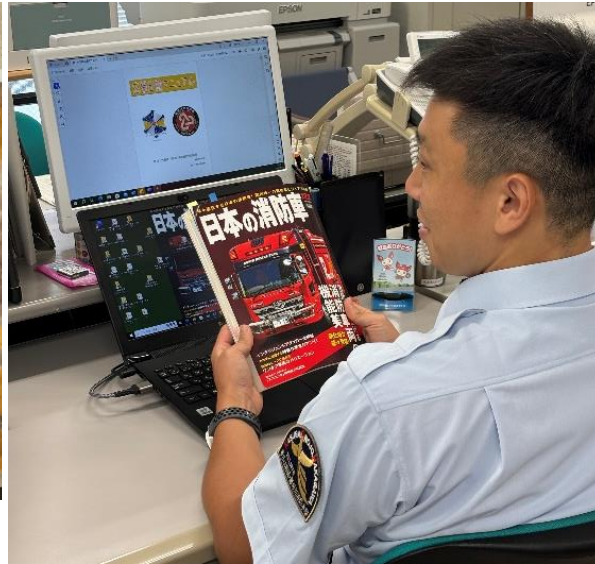
幼少期から 20 代後半まではサッカーやフットサルを楽しんでいました。ただ、30 代になり異なる趣味をと思い、軽い気持ちで釣りを始め今では釣具を眺めたり、触ったりする時間が最高のストレス発散というほどハマっています。また、家族と公園に出かけたり、買い物に行ったり、家族時間も大切にしています。家族時間を大切にすることで、釣りに行くためのポイント稼ぎも忘れないようにしています（笑）。

【受験者へのメッセージ】

消防士になりたいという理由は何でも OK です（カッコいいから、給与良さそう、休み多そう、モテそう等々）。採用後、業務等に全力で向き合い、人の役に立つことの素晴らしさを体感しましょう。一緒に働ける日々を楽しみにしています。



平成 17 年 4 月入庁 警防課主査

**【現在の仕事・これまでの業務経験】**

私は現在、警防課警防救助係で業務に従事しています。警防課警防救助係は、管内の消防力の充実強化を検討する部署で、車両の設計(救助工作車や災害支援車を担当)や火災活動の際に着用する防火衣の仕様の検討などを担当しており、現場に出動する消防隊が安全に活動できるよう、現場第一をモットーに日々の業務を遂行しています。これまでの現場経験を基に、現場での活動が少しでも安全に円滑に進むよう努めています。

私は高校卒業後に春日・大野城・那珂川消防組合消防本部に就職し、右も左もわからない状況で様々な先輩や同期に色々と心配される存在でしたが、『消防隊3年→救助隊6年→消防隊2年→日勤4年半→救助隊長2年』の経験を経て、先輩からのメッセージを任せられるまで成長できました！当消防本部は様々な業務経験を経て成長することができる最高の職場です。

【消防士を選んだ理由・仕事への思い】

私が消防士を選んだ理由ですが、まず、消防という仕事について、身内に消防士がいたことで消防士という職業を身近に感じ、良い印象を持っていました。高校卒業時に自分自身の将来を真剣に考えた際、公安職の公務員になることを決め、専門学校に行きながら警察や自衛隊も含めた進路を模索しました。最終的に警察と消防のいずれかの仕事がしたいと迷いましたが、消防という仕事に親近感と良い印象を持っていたことが決め手となり、消防士になることを決断しました。

消防士は、人命救助のために災害現場の最前線で活動します。要救助者と仲間の命と安全を守る責任は重く、プレッシャーも当然あります。しかし、大きなやりがいを感じることができる仕事です。常に万が一の場合に備え、日々思考し、何をするにしても住民目線で『明るく楽しく前向きに』仕事をし、これからも子供たちが憧れ、住民の皆さんから頼りにされる消防士でありたいと思っています。

【休日の過ごし方】

毎日勤務職員は、土日祝日が休日にあたり、日頃体力を使わないため、勤務終わりの夕方や休日を使って、まずは体力維持に励んでいます。とにかく体を動かすのが大好きです。そして、趣味(ラグビー・ゴルフ)や家族と過ごすことで日頃の疲れを癒しています。

消防の仕事はオンオフの切替えが大事と言われていますが、プライベートでもオンオフをしっかりしすぎて時々妻から怒られます(笑)。皆さんも注意しましょう！

【受験者へのメッセージ】

どんな職場であろうと成長するかしないかは受験者の皆さん次第だと思います。しかし、当消防本部は意欲的で主体性を持った職員が多くいるため、様々な意見を出して挑戦することができ、挑戦を通じて大きく成長することができる職場です。私たちに皆さんの成長の手伝いをさせてください。そして、春日市、大野城市、那珂川市の住民の皆さんから頼りにされる消防士になれるよう頑張っていきたいと思います！お待ちしております。



平成 23 年 4 月入庁 総務課主任

**【現在の仕事・これまでの業務経験】**

私は、総務課人事企画係で毎日勤務をしています。総務課人事企画係の主な担当業務は、組織の経営戦略、人事・研修、広報、議会、法制、情報公開・個人情報保護等があります。みなさんが想像する消防業務ではないかもしれませんが、消防行政を推進していくための大切な業務です。私の係は職員採用試験も担当しているため、この先輩からのメッセージが当消防本部の受験を考えている皆さんの参考になればと思っています。採用後の研修等のサポートも行っていますので、皆さんに会える日を楽しみにしています。人事に関する業務を中心に職員が働きやすい組織・職場環境を整備し、適正に消防行政を運営することで住民の安全と安心を守っています。

私はこれまで、消防隊や救急隊として現場活動を行っていましたが、現在の部署に異動したことで組織を運営するために様々な分野で働いている人がおり、各部署の職員が責任を持って業務を遂行することで質の高い消防行政サービスを住民の皆さんに提供できていることが分かりました。人事異動を通じ、自分自身を更に成長させることができる環境が当消防本部には整っています。

【消防士を選んだ理由・仕事への思い】

私が消防士を目指したきっかけは、父が消防士だったからです。幼稚園の頃、消防車に乗った父が避難訓練の指導に来たことを覚えています。その頃から「消防士ってカッコいい！」と憧れを抱いていて、バスケットボールなどのスポーツが好きだったこともあり、体を使った仕事がしたい、人の役に立てる仕事に就きたいと思い消防士を目指しました。

消防の出動には、火災、救助、救急などがありますが、どの出動であっても助けを求める方にとっては一生に一度遭遇するかしないかの出来事なので、不安な気持ちで助けを待っている方に寄り添った活動することが大切です。助けを求めた方が安心して現場を任せられるのが消防の使命であり、やりがいだと思います。

【休日の過ごし方】

休日は家族と過ごす時間が多く、子どもと公園に虫取りに行ったり、家でのおんびり映画をみています。

また、職場の同僚と週に1回バスケットボールをしています。消防士は今までスポーツをしてきた人がたくさんおり、同じスポーツを通じて仲良くなれる先輩、同僚がたくさんできます。当消防本部では野球、サッカー、駅伝、ゴルフなどのクラブもあるため、勤務外でも職員間の交友が深められます。

【受験者へのメッセージ】

当消防本部は職員が働きやすい職場です。ホームページの職員採用試験案内でその一部を紹介していますので、ぜひご覧ください。当消防本部の受験を考えている皆さん、全力でサポートしますので安心してください！

春日市、大野城市、那珂川市の住民の生命、身体及び財産を一緒に守って行きましょう。多くの方の職員採用試験の申込みをお待ちしております。試験会場で会いましょう。